

2023年度 第4回 雄踏中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2024年2月19日（月） 14時30分から16時30分まで
- 2 開催場所 雄踏中学校 1階会議室
- 3 出席委員 藤田 源大、山内 勝己、坂下 正泰、古橋 由美子
関谷 みゆき、坂田 尚久、河瀬 俊夫、渥美 香由里
- 4 欠席委員 藤田 雅光
- 5 学 校 松下 浩隆(校長)、中津川 広美(教頭)、石塚 琢磨(教諭)
馬淵 元余(教諭)、藤松 昌一(CSディレクター)

6 教頭 開会挨拶

- ・藤田副会長が欠席となります。過半数の出席が確認されましたので、会議は成立します。

7 藤田会長 挨拶

- ・学校評価者アンケート結果等について活発なご意見をお願いします。

8 校長挨拶

- ・雄踏中では、2週間前に1学級の閉鎖がありましたが、今は落ち着いており、健康的な地区だと感じています。本日教育委員会の牧野先生は欠席となります。ご承知おきください。

9 教頭 前回会議録確認

- ・行事の振り返りとテーマ「雄踏中の生徒を育てよう」の分科会でした。ITCの活用では機器に頼りすぎない教育、校則改正では自己判断に任せる一方で一定のルール必要性、学校行事では地域住民も見学に行けるような場所での開催を検討してもらいたいという意見を頂きました。

10 会長 学校関係者評価について

① アンケート結果について（石塚）

- ・生徒アンケートでは、充実度が増え、先生に相談しやすいと思っている生徒が増えました。
- ・保護者からは、子ども達の活動を是非地域に発信してもらいたいとの意見をいただきました。
- ・職員のアンケートでも、各項目で向上が見られましたが、将来の夢や未来を見据えた教育活動については、工夫が必要だと感じています。
- ・学校教育目標の「豊かな心を育てる」という点で成果が表れてきた一方、将来に対して挑戦する心、夢や希望を語る場を設定するような教育活動をどのように行っていくかが課題と言えます。

河瀬 結果を見ると、2年生の数値が下がっている項目が多い。

古橋 2年生になると思春期に入り、子どもと大人の考え方が混在して難しい時期だと感じます。

関谷 先生方の結果が前年に比較して向上している点は、素晴らしいと思います。

校長 生徒と先生が共に活動し、意志の疎通が出来るようになったことが重要だと思います。

山内 学校運営協議会の取組について理解が深まっている結果となっている点は評価出来ます。

校長 面接練習、防災訓練、家庭実技支援など先生方が直接恩恵を感じてきた結果だと思います。

会長 家庭学習でも周囲の環境がサポートしてくれる時代ですが、子ども自身の自発性が大切です。

河瀬 授業でも、ITCの活用で環境が変わり、勉強の効率が上がったと評価しています。個に応じた対応で生徒との距離が近づいてきたことが、結果として表れていると思います。

② 雄踏中いじめ未然防止対策について（石塚）

- ・令和5年度のいじめ発生件数は54件、解決したものは20件、いじめ対策委員会は52回実施、経過観察中は34件です。昨年度からの継続対応分も含まれています。
- ・未然防止活動として、生活アンケートを5月と2月に実施、浜松いじめアンケートを11月に実施し、生徒との二者面談を行いました。また、4月と7月の2回の職員研修、7月と12月に生徒集会（レクリエーション活動）、生き方講話を6月と2月に行いました。
- ・来年度は、自己肯定感を高めるようなピアサポート活動を計画的に行っていきたいと思います。

坂下 いじめはどんな理由が有ってもいけないことだが、ふざけあいなのかいじめなのか区分けが難しいですね。最近はやだ名にも注意が必要で、判断が難しいでしょう。

河瀬 きまりが増え、ダメと言われたら何も出来なくなり、心に余裕がなくなるように思います。

会長 ネット対応などの技術面と教師が異変を察する感性を身に付ける研修など、時間をかけて痛みを想像できる教育が出来る教師になっていただきたい。

坂田 いじめはあるもだということを前提にして、早期発見・対策が肝心だと思います。

渥美 喜怒哀楽の中で、今の教育は怒哀を避けた教育をしていると著名人が言っていた。教師が怒ったときには、暴力は絶対NGだが、なぜ怒られたのかを感じられる人間に育てほしい。

関谷 子ども達が繊細になりすぎているようで心配しています。セクハラ・パワハラを含め、いじめ対応が難しくなっていると思います。

古橋 雄踏中でも観察中のいじめがあると聞き、全面解決は難しいが、いじめで学校に来られない子ども達も存在する。良い方向に向くようご努力願いたい。

会長 いじめが表面化されていることは健全な状況だと思います。学校関係者が不満を言えることも素晴らしい。先生にとっては耳が痛いと思いますが前向きに捉え対応をお願いします

1 1 令和6年度来期学校運営方針について（校長）

- ・確かな知力の項目で発信力を高める深い学びとしました。関わりの深い学びから変更しました。道徳的学びから感性を高める方向にしました。発信すると学力が定着することが判っています。
- ・生き方学習では、防災宿泊体験学習と職業体験学習をメインとして実施していきます。
- ・いじめ対策基本方針については、しっかりと聞き取りを行い、早期対策の実施としました。

会長 非常に具体的で理解し易くなってきたと思います。

1 2 学校運営協議会自己評価（教頭）

- ・地域への協議会の情報発信が課題です。来期も積極的に教員と交流をしたいです。

坂下 折角同じ町内なら、小学校も含め共催で実施したらどうですか（年1回程度）

坂田 年間計画の内容など各戸配付したらどうでしょうか。まだまだ浸透していない感じはします。

1 3 夢育やらまいか事業について（教頭）

- ・防災宿泊訓練で充実した活動ができました。協議会委員にも協力していただいた。

会長 これで今年度の協議会も終わりです。来年度も充実した学校運営協議会となるようよろしくお願いします。以上で第4回運営協議会を終了します。